

§2 市政・区政への参画

このコーナーでは、区民のみなさんに市政・区政へ参画していただいている取組を紹介します。

1. 教育コミュニティづくり

～学校・家庭・地域から生まれる教育のカタチ～

淀川区では、地域の共有財産である小中学校を拠点に、はぐくみネット事業、生涯学習ルーム事業、学校体育施設開放事業の実施により、地域の「教育コミュニティづくり」を進めています。

「教育コミュニティづくり」とは、かつての地縁的コミュニティに加えて、少子・高齢化等が進む新しい時代のコミュニティとして、学校・家庭・地域社会が協働により、様々な人々が継続的に子どもに関わるシステム



をつくる取り組みです。

今後、ますます学校・家庭・地域住民のみなさんの連携を推進し、子どもと大人が共に参加し世代間交流につながるようなイベントの開催の検討など、はぐくみネット協議会や生涯学習ルーム運営委員会等の活動により、豊かな「教育コミュニティ」が発展していくことをめざしています。

①はぐくみネット事業・・・

地域・家庭・学校のネットワークによりこどもを育む活動を行います。

②生涯学習ルーム事業・・・

小学校の教室等を利用して、講座を実施。地域住民や子どもたちの自発的な学習や交流の機会を提供しています。

③学校体育施設開放事業・・・

地域に開かれたスポーツ活動や子ども向けの教室・講座等を通して、地域住民や子どもたちにスポーツの機会を提供。

※はぐくみネット・生涯学習ルームは小学校区（全17校）、体育施設開放は小中学校（全23校）で実施

【緊急速報】

十三駅西地区の火災への対応

3月7日、早朝、阪急十三駅西側にある飲食店街が焼損するという火災が発生しました。

地元の十三トミータウン商店会では、直ちに「復興対策委員会（中田八朗会長）」を設置し、署名や募金活動などに取り組むなど復興事業を推進されています。



大阪市でも、この火災への対応を連携して検討するため、田中副市長のもと、関係4局と淀川区役所で[プロジェクトチームが立ち上げられ](#)、3月28日に[第1回のチーム会議](#)が開かれました。

淀川区役所からは、地域における復興対策会議の開催状況や署名・募金などの活動状況に加え、がれき処理や復興方法など地域が抱える課題を報告しました。

当面の復旧や今後の再建に向けた対応については、地元の動きに合わせ、区役所が窓口となってまいります。